

ZEH

ZEHは、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備により、できる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電によりエネルギーを創ることで、一年間で消費する住宅のエネルギー量が正味(ネット)で概ねゼロ以下となる住宅

住宅産業センターは2020年までにZEH普及率60%を目指します。

	ZEH 受託率	Neariy ZEH 受託率	合計
2016年度目標	15%	15%	30%
2017年度目標	15%	15%	30%
2018年度目標	20%	20%	40%
2019年度目標	25%	25%	50%
2020年度目標	35%	25%	60%

具体的なZEH普及作

【1】ZEHの周知・普及に向けた具体策

太陽や風などの自然エネルギーをコントロールしながら快適に過ごせる「パッシブデザイン」を取り入れ家づくをしております。設計の段階から大要や風を考慮しプラン作成を進めるとともに、樹脂サッシや高断熱仕様を標準とし高性能な家づくりを実現します。また、高効率の換気システムやエアコン、エコキュート等の設備を取り入れる事で一次エネルギー量の削減にも寄与しています。その結果、省エネで快適な健康住宅となり「笑顔の絶えない家づくり」という弊社の理念にも直結します。更に創エネとなる太陽光発電を搭載する事で正味エネルギーを「0」にするZEHを実現できます。今後、ホームページや完成見学会でも周知及び普及活動に努めていく考えです。

【2】ZEHのコストダウンに向けた具体策

躯体の断熱性能を上げる、また高効率な設備機器を導入する事が基本となりますが、単純に断熱材を厚くしたり、性能の高いエアコンやエコキュートを仕様するだけではコストダウンにも限界があります。この部分に頼るのではなく設計の段階で断熱機性能を保持できるような間取りや外観を心がけ、方位、屋根形状、開口部の配置を検討するとともに、太陽の光や熱、そして風を活用した設計を行う事で光熱費を抑える事をご提案いたします。この設計により、太陽光パネルの配置も検討でき、効率のよい創エネルギーを実現する事により費用を抑えることができます。また夏の日射遮蔽や冬の日射取得を計画的に行うために意匠設計の段階からしっかりと確認にする事により、「パッシブデザイン」を効果的に取り入れます。そうする事で、コストダウンを図る事が可能となります。

【3】その他の取り組みなど

ZEHや省エネ基準にはありませんが、建築工期の徹底管理、材料のロス削減に努めます。工期の管理を徹底する事で無駄なコストをなくし、あわせて材料のロスを削減すれば、商品の提供価格を抑えることができZEHにむけた設備の提供を実現します